



兵庫県30年度当初予算案

農林水産関係822億円

法人経営の支援に法人化促進総合対策事業を措置

兵庫県は2月15日、平成30年度当初予算案を発表した。一般会計の総額は前年度当初予算比0.8割減の1兆8880億円。農林水産費は、前年度予算比4.1割増の822億4400万円となっている。

法人化支援の目玉として新たに、法人の新事業への取り組みや人材雇用を支援する法人化促進総合対策事業に7650万円を計上。また、主な事業として中山間地域等直接支払交付金に7億7134万円、新規就農駅前講座の実施や農業次世代人材投資資金の活用促進などの農業人材確保に5億3574万円、人・農地プランによる農地の集積・集約化の促進に3億1134万円、農地中間管理機構による担い手への農地集積・集約に1億4706万円を計上した。

発行所

一般社団法人
兵庫県農業会議
神戸市中央区下山手通4丁目15-3
兵庫県農業共済会館内
編集発行人 藤本英樹

主な内容

- ◇県農業青年士 新たに15人を認定 兵庫みどり公社
- ◇農委地区別交流研修会 県下8地区で開催
- ◇平成29年度新体制移行農業委員会 新役員
- ◇町長に意見書を提出 猪名川町

法人経営体に対する労働環境整備等を支援

⑤捕獲専門家チームによる有害捕獲の強化 (新規・3365万円)

⑥企業の農業参入の推進 (拡充・450万円)
農業参入した企業や地元農家と企業等が出資して設立した農業法人の経営安定と定着に向けた取組の支援

⑦農業経営力の向上支援 (拡充・5635万円)
農業経営の法人化や集落営農の組織化を支援、法人化や経営発展を目指す認定農業者、集落営農組織等に対し、農業研修等を実施

⑧ひょうご元気な「農」創造事業の推進 (拡充・2900万円)
農業改良普及センターを核として、魅力ある商品提案を図り、生産から消費まで有機的に連携する新たな仕組みを構築

⑨ひょうごの次世代施設園芸モデル普及拡大支援事業 (拡充・1億8569万円)
加西拠点で得られた技術ノ

ウハウを応用し、既存農家に対して環境制御機器の導入を支援等

⑩但馬牛繁殖経営安定対策事業 (拡充・3716万円)
但馬牛の増頭に取り組む者に対し支援、繁殖経営支援センターの県内各地での整備を推進

⑪シカ捕獲総合対策の実施 (拡充・4億8995万円)
農林業被害を軽減するため、広域的なシカ捕獲対策を実施

⑫イノシシ被害対策の推進 (拡充・8673万円)
生活被害が拡大・増加している地区を対象に、地元猟友会による加害イノシシ等の捕獲を支援

農業委員

最適化推進委員向け活動マニュアルを作成

兵庫県と公益社団法人兵庫みどり公社、県農業会議の3者はこのほど、農業委員と農地利用最適化推進委員向けの「農地利用最適化推進マニュアル」を作成した。委員活動で得た情報を関係者で共有し、市町の計画的な農業振興に役立てるのが狙い。

マニュアルでは、委員の農地利用の最適化推進活動について、①農家等の意向と農地の状況把握、②関係者への情報提供(事務局への報告)の2つを基本活動とし、把握すべき情報の内容を示すなど、具体的な行動と手順を詳細に例示している。

さらに、新規就農者等と地域との橋渡しし、人・農地プラン作成に向けたきつかけづくりなど、活動内容のステップアップ事例も示している。

全国農業新聞・2月増部

全国農業新聞の普及について、2月に増部したのは5市町。(一)内は増加部数。①丹波市(2)、②三木市(1)、③たつの市(1)、④養父市(1)、⑤淡路市(1)

農業者年金1月

新規加入実績

兵庫県の新規加入実績は次のとおり。
規加入実績は次のとおり。
(農業者年金基金1月受付処理分)
養父市 1人

県青年農業士

新たに15人を認定

兵庫みどり公社

公益社団法人兵庫みどり公社は2月20日、神戸市で県青年農業士認定証授与式を開き、新たに15人を認定した。これにより青年農業士は67人になった。

青年農業士は、水準の高い農業を営み地域農業推進のリーダーにふさわしい青年(おおむね25歳〜35歳)を認定するもので、主な任務は、①生産性の高い農業経営を確立するための研究及び実践活動への取り組み、②農村青年等で組織する各種団体に積極的に参画し、リーダーとして指導、③地域農業の振興及びコミュニティ活動の積極的推進、同公社などが行う研修や講座でのリーダー活動など。

新規認定者の氏名、主な経営作目等は次のとおり。(敬称略)

松本吉広(神戸市・露地花卉)▽藤田彰大(神戸市・施設野菜、水稲)▽伊藤靖昌(明石市・酪農、乳製品加工)▽坂田耕祐(加古郡稲美町・施

設野菜、露地野菜)▽藤田慎平(三木市・果樹、水稲)▽小川陽平(姫路市・水稲、農家レストラン)▽小倉篤(相生市・土地利用型作物)▽中野めぐみ(豊岡市・水稲、野菜)▽小田垣縁(養父市・養豚)▽構井友洋(篠山市・土地利用型作物)▽山下透(丹波市・花壇苗生産)▽須原隆一(丹波市・土地利用型作物、繁殖和牛)▽堤直也(南あわじ市・露地野菜)▽田辺健(南あわじ市・露地野菜)▽森靖一(淡路市・野菜)

ひょうご農業MBA塾生 アグリフードEXPO出展

2月21日と22日、ひょうご農業MBA塾(県農業会議主催)の塾生11人が、大阪市のATCアジアトレードセンターで開かれたアグリフードEXPO大阪2018に出展した。プレゼンテーション、商品展示の手法をカリキュラムの中で

学んでおり、その実践の場として取り組んだ。

塾生は3班に分かれて米やレタス、トマト、イチゴ、卵、加工品などを展示。ミニトマト、イチゴ、ミルクプリンゼス(米)、シフォンケーキなどの試食を行い、農産物と加工品を自らPRした。ブースには2日間で約300社が来訪し、約30社について具体的な商談が期待される。

農業委員会地区別交流研修会 県下8地区で開催

県農業会議は、昨年11月から今年2月までに、県下8地区で農業委員会地区別交流研修会を開催した。

研修会では県農業会議や兵庫関係各課からの情報提供、事業の推進状況などの説明のほか、各農業委員会から重点的に取り組んでいる事項についての報告、意見交換などを実施した。

農業委員会の報告では、地区連絡会などを開いたり、農業委員・推進委員でチーム編成をするなど工夫して活動している事例などが紹介された。

参加者からは、「農地中間管理事業が進んでいる地域の要因は何か」といった質問や「農業委員・推進委員は新規就農者のバックアップをする必要がある」といった意見が出るなど互いに意見交換を実施した。

また、「担い手だけでなく兼業で頑張る農家も地域には必要」や「条件不利地への支援策も必要」といった意見などが出された。

南あわじ市内の女性農業者 9グループが活動報告 第2回 農業女子フェス会開催

南あわじ市志知佐礼尾の吉備国際大学で2月22日、2回目となる南あわじ市農業女子フェス会が開催され、女性農業者37人が参加した。

同市では、女性農業者グループによる新規作物の導入や新

商品の開発などの取り組みを支援する「農業女子プロジェクト事業」を実施しており、1年間の活動報告や交流を目的にフェス会を開催している。

市内にある9つの女性グループが集まり、カラフルな野菜作りに取り組んだことや農業機械を扱う実践的な講習会を開いたこと、食育の一環として料理教室を開催していることなどをそれぞれ報告した。

また、ひょうごアグリプリンセスの会の会員で、神戸市北区淡河町で少量多品種の野菜を生産する森本聖子さんが「都市近郊に新規就農した小さい農家として」と題して講演。外国原産のマイクログキウリなどの珍しい野菜も紹介した。森本さんは「同じ市内に9つも女性グループがあることに驚きました。活動的な集まりがたくさんあるのは、うらやましいです」と笑顔で話した。

一人一人の安全意識の向上で事故防止

3月1日から5月31日は

春の農作業安全確認運動期間

県稲作経営者会議

総会・研究会を開催

2月16日、県稲作経営者会議（事務局・県農業会議）は、神戸市で平成30年通常総会と稲作経営者研究会を開き、会員ら78人が参加した。

総会では、平成29年事業実績・収支決算の報告、平成30年事業計画・収支予算の承認、役員改選などを行った。

役員改選では、会長に堀謙吾氏（丹波市・新任）、副会長に和田利幸氏（豊岡市・再任）と原雅春氏（相生市・新任）のほか理事・監事を選出した。任期は2年。

研究会では、しいたけを生産・販売する深山農園（株）の深山陽一朗代表取締役が、

自身の経営理念や戦略、目標実現のための取り組みなどについて話した。

同会は、経営面積5畝以上

の大規模稲作経営者88人で組織しており、新規会員を募集している。問い合わせと加入申し込みは事務局（県農業会議078・391・1221）まで。

理事・監事は次のとおり。
【敬称略】
【理事】小池潤（神戸市・再）、

藤原久和（西脇市・新）、丸尾信夫（稲美町・再）、飯塚祐樹（姫路市・再）、田淵利英（たつの市・新）、村上彰（朝来市・再）、宮垣剛（丹波市・新）、石田浩一（篠山市・新）
【監事】東川晃志（上郡町・再）、森田強（豊岡市・再）

宝塚市で現地交流 神戸市内の法人視察も

県農業法人協会

県内の農業法人経営者らで組織する県農業法人協会（会長・八木隆博氏）は、2月8日と9日、宝塚市で現地交流会を開き、45人が参加した。

初日は前全日本女子バレーボールチーム監督の眞鍋政義氏が「逆転発想の勝利学〜チームのスイッチを入れる〜」と題して、女性アスリートの集団をどのようにまとめ、世界へ挑戦し、結果を出してきたかについて講演した。また、会員同士が、それぞれの経営について気にかかっていることなどを話し合うグループ討議などを行った。

2日目は現地視察研修を実施。神戸市北区のゆめファーム兵庫六甲によるトマトとイチゴの最先端園芸施設を見学した。次に同市北区でイチゴやブドウを生産する、すまいるふぁーむ藤本を訪れ、直売所での販売や観光農園などについて説明を受けた。

平成29年度 新体制移行農業委員会 新役員

平成29年度は県下20の農業委員会が新体制に移行した。各市町の新役員は下表のとおり。

平成29年度新体制移行農業委員会の新役員
平成30年3月現在

市 町	就任年月日	会 長	会長職務代理者
豊岡市	H29.4.21	森井 脩	大原 博幸、村田 憲夫
香美町	H29.4.24	亀村 庄二	田中 市郎
丹波市	H29.7.3	古倉 一郎	岸本 好量、荒木 嘉信
明石市	H29.7.20	中里 正己	安達 哲哉
西宮市	H29.7.20	松本 俊治	中務 幸雄
相生市	H29.7.20	川田 文規	原 雅春
加古川市	H29.7.20	馬田 禧紹	三村 覺
赤穂市	H29.7.20	谷山 甫	大崎 清
宝塚市	H29.7.20	中西 一彦	金岡久仁雄
宍粟市	H29.7.20	森本 弘昭	村上 廣恭
播磨町	H29.7.20	澤田 秀隆	梅谷 良治
福崎町	H29.7.20	上田 隆敏	松岡 繁克
伊丹市	H29.7.28	中西 良博	西川 裕雄
淡路市	H29.8.1	北坂 勝弘	岡野 佳一
南あわじ市	H29.8.3	竹田 孝司	森 光男
新温泉町	H29.11.1	松元けい子	小谷 正美
たつの市	H29.12.20	猪澤 敏一	大西 正清
太子町	H30.1.22	丸尾 勝三	井手 俊郎
尼崎市	H30.2.20	西村 昌浩	小寺清兵衛

女性委員 交流研修会開催

県農業会議

県農業会議とひょうご農業委員会女性ネットワーク（篠山市・大西富美子会長）は2月28日、神戸市で農業委員会女性委員交流研修会を開き、農業委員と農地利用最適化推進委員ら32人が参加した。

県農業会議から農業委員会を巡る情勢について報告があったほか、それぞれの農業委員会活動の報告や地域農業の課題について意見交換した。

今回は、参加者らが、自慢の農産加工品を持ち寄り、鯖寿司や桜餅、水ようかん、おかし、シフォンケーキなどを試食した。

町長に意見書を提出 担い手確保や所得向上への支援を要望

猪名川町農業委員会

猪名川町農業委員会(大下章会長)は平成29年12月14日、「猪名川町農業施策等に関する意見書」を策定し、福田長治町長に提出した。

意見書の提出は、農業委員会法第38条の規定に基づいて執行されたものであり、町農業振興の推進にかかる具体施策、大別して①農地利用の最適化と

担い手の確保、②農業所得の向上にかかる支援、③有害鳥獣対策の3つを要望した。

主な内容は、「農地利用の最適化と担い手の確保」では、集

落営農組織の推進や認定農業者・新規就農者など意欲ある担い手への積極的な支援策、農業と福祉が連携して相乗効果を生み出す「農福連携」への積極的

な取り組みを、また、「農業所得の向上にかかる支援」では、6次産業化や販路拡大に対する支援策の拡充や各種営農活性化支援事業の継続とその拡充、そして「有害鳥獣対策」では、電気柵や箱わな購入助成の継続などを求めた。

提出の当日は、木下会長、西村職務代理者、南農地最適化推進委員長の3名が出席、町執行部局に対して意見書の提出後、農業施策全般にかかる意見交換がなされた。

県農業会議農地委員会結果

ること決定した。

二 協 議

(1) 農地利用最適化推進マニュアルについて

県・兵庫みどり公社・農業会議連名で作成した農地利用最適化推進マニュアルについて、県農地調整室から説明があった。

(2) 当面の農政問題について

平成29年度農林水産関係補正予算、平成28年全国荒廃農地面積・農用地区域内の農地面積、平成30年度農地委員会開催予定日等について、事務局が説明した。

県農業会議は2月5日、第23回農地委員会を神戸市の県農業共済会館で開いた。

一 議 事

(1) 農地の転用のための許可について

農地法第4条に関する転用事案1件について審議し、許可相当として三田市農業委員長に回答することに決定した。

(2) 農地等の転用のための権利移動の許可について

農地法第5条に関する転用事案2件について審議し、両案件とも許可相当とし、神戸市並びに小野市農業委員長に回答す

(別表) 第23回農地委員会・農地法第4条・第5条関係処理状況

区 分	農 地 区 分 別 処 理 件 数						処 理 面 積 (㎡)
	農 振 農 用 地	甲 種	第1種	第2種	第3種	合 計	
第4条	1	0	0	0	0	1	3,076
第5条	1	0	0	0	1	2	12,999.38

農業会議日誌

2月1日～2月28日

- 1日 都道府県農業会議事務局長会議出席(東京都)
- 5日 第23回農地委員会開催(神戸市)▽ひょうご農とくらし研究活動コンクール出席(同市)
- 6日 全国農業会議所学識経験会員懇談会出席(東京都)
- ▽農業委員会地区別交流研修会(中播地区)開催(姫路市)▽第13回ひょうご農業MBA塾開催(神戸市)▽農業法人協会と県立農大生との意見交換会出席(加西市)
- 8日 都道府県農業会議会長会議出席(東京都)▽企業の農業参入セミナー出席(神戸市)
- ▽県農業法人協会現地交流会出席(宝塚市・9日まで)
- 9日 農業委員会地区別交流研修会(淡路地区)開催(淡路市)▽新農業人フェア出席(東京都・10日まで)
- 13日 県都市計画審議会出席(神戸市)▽県開発審査会出席(同市)▽農の雇用事業研修会開催(同市)
- 14日 農業委員会地区別交流研修会(東播地区)開催(明石市)
- 15日 農業委員会地区別交流研修会(西播地区)開催(相生市)▽第14回ひょうご農業MBA塾開催(神戸市)
- 16日 県稲作経営者会議通常総会及び研究会出席(神戸市)▽都市農業振興に係る研修会出席(同市)▽全国農業新聞近畿版編集会議出席(京都府)
- 18日 就農希望者向けセミナー・相談会開催(神戸市)
- 20日 全国農業会議所第399回理事会出席(東京都)▽県青年農業士認定証授与式及び総会出席(神戸市)▽県・兵庫みどり公社・農業会議連携会議出席(同市)
- 21日 第15回ひょうご農業MBA塾開催(神戸市)
- 22日 アグリフッドEXPO大阪2018出席(大阪府)
- 23日 農業委員会地区別交流研修会(神戸・阪神地区)開催(神戸市)▽近畿府県農業会議次長等会議出席(大阪府)
- 28日 女性委員交流研修会開催(神戸市)▽都道府県農業会議職員等研修会出席(東京都・3月1日まで)

